

情報を多角的に捉えて見定める

—第22回医療介護安全大会を振り返るその2—

情報の共有

T (Tigra)・・・医療介護安全大会で情報の共有について、田端理事長が触れていたよね。

T子・・・多くの人が、「情報の共有が大切だ!」と思っているよね。

T・・・でも理事長は、「アテナを外に向けて情報を収集する」って言われていたけれど、たくさん

の情報の中から何が正しいのか、間違っているのか、「情報を見極めるのは難しい」と思うんだけど。

T子・・・コロナ禍や、例えば今のウクライナとの戦時下では、情報が様々に渦巻いているからね。

T・・・特に医療は専門的になりがちだし、ウクライナは遠く離れているし。T子・・・実際に自分の眼で

見ることはできないし、体験できるとは限らないからね。

T・・・そうそう。情報の共有は、伝えることも大切だけど、きちんと伝わっているかどうかといったやりとりが、より大切だと思う。あと正直、受け手が理解しなくても、難しい情報もあるよね。

T子・・・一人ひとりが、重要な情報を蓄積するための機能が働かないといけないのかな。

T・・・情報を活用する土壌を醸成する機能も大切だよな。

T子・・・理事長が、「説明と理解」と言っていたよね。

T・・・共有可能な仕組みをサポートする機能として、相互理解の場が求められているわけだ。

T子・・・理事長の「たまり場訪問」もその一つだね。

情報共有の目的を明確に

T・・・①誰が何のために情報共有をするのか?②情報共有をすることによって、どのような効果や利益をもたらすのか?という情報共有の目的を明確にする意味があるよね。

一生懸命やっているつもりでも、医療を提供

ACP (Advance Care Planning)

将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援するプロセスのこと。

私も

夏の高校生看護師体験

「人の役に立ちたい」



▲高校生の質問に答えている様子

脈拍測定の様子▶

今年は、2年ぶりに看護師体験を現地開催で準備していましたが、コロナ感染者増加で、8回全てオンライン開催になりました。

42人が参加しました。内容は、病院の説明や看護師の仕事内容のお話と、看護師の一日を動画で視聴しました。学校の選び方(大学か専門学校かなど)や奨学金の説明、泉州看護専門学校の紹介をしました。

オンラインでもできる体験として、感染予防対策の手指消毒の仕方を画面越しに行いました。また、患者さんの状態を知るために必要なバイタルサインを学び、自分の脈拍測定をしました。脈を

探すことに苦労し、見つかった時にホッとする場面もありました。最後に、現場の看護師へのインタビューで高校生の疑問に答えていきながら、看護師を目指す高校生を応援していきます。

感想から

・2時間、アツという間で、とても良い経験になりました。質問もたくさんできて良かったです。

・看護師の実験の一日の過ごし方、学校選びなど、詳しく見る機会は今までなかったです、新しい一面を見られて嬉しかったですし、目指すものに対してのモチベーションが上がりました。

・「患者さんに『ありがとう』と言っても良かったら、頑張つてよかったですなと思える」と看護師の方が言っていて、私も「人の役に立ちたいな」と思いました。

「研修医育成」に皆さまの「声」を

右のQRコードからアンケートへのご協力をお願いします。(耳原総合病院研修委員会)



みみはらフードバンク おたがいさま広場 蔵前

10月23日(日) 11:00~13:00頃 品物がなくなり次第終了

〈場所〉蔵前町会館 蔵前町3丁-32

お問い合わせ
TEL 072-244-8061
FAX 072-244-7860
(健康友の会みみはら事務局)

前日、当日のお問い合わせは
TEL 080-7178-7595
(フードバンクみみはら事務局 小嶋)

主催：フードバンク実行委員会(みみはらファミリークリニック・健康友の会みみはら)
共催：おしゃべり食堂実行委員会



駐車場はございません。徒歩、自転車でお越しください。

メールでのお問い合わせはこちらのQRコードから▶

